

いのちとくらしをまもる  
防災減災

令和3年6月2日  
沖縄気象台

## 沖縄地方の2021年5月の平均気温が過去最高

2021年5月の沖縄地方の地域平均気温平年差\*は+1.9℃となり、5月としては統計を開始した1946年以降、最も高い値を更新しました。

### 1. 沖縄地方の地域平均気温平年差の高い方からの順位

順位	年	地域平均気温平年差(℃)
1	2021	+1.9
2	2016	+1.5
3	1998	+1.5
4	1963	+1.4
5	1954	+1.4

統計開始1946年

### 2. 沖縄県内の各地点における2021年5月の平均気温

平均気温5月

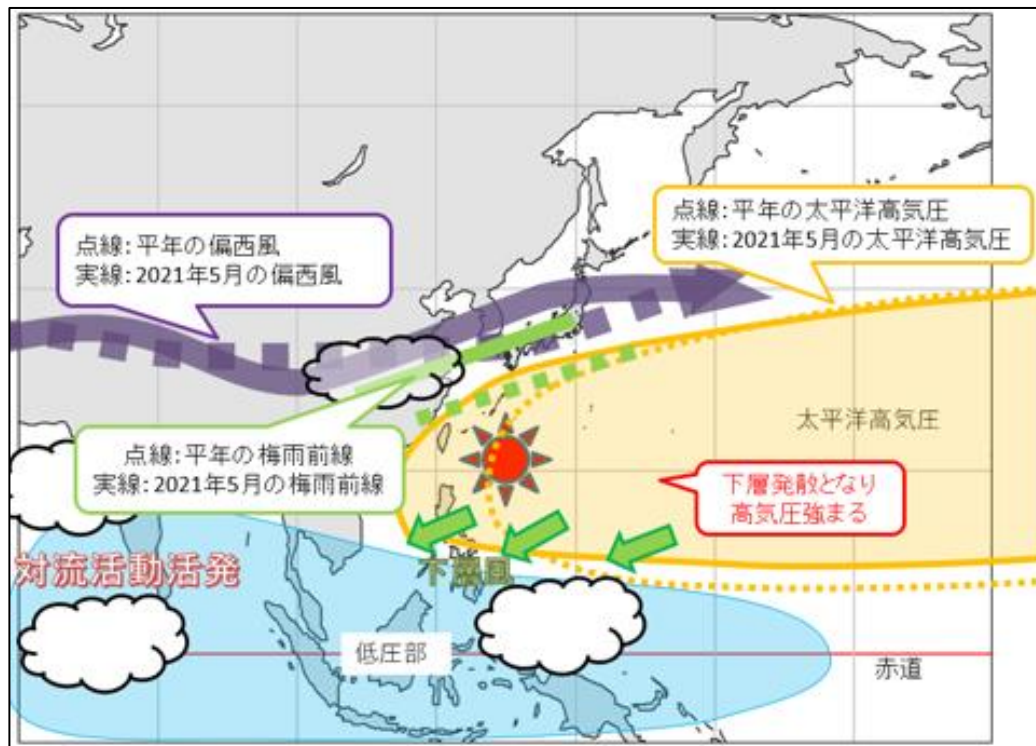
観測地点	月平均気温(℃)	平年値(℃)	平年差(℃)	統計開始以降高い方からの順位	5月としてのこれまでの最高		統計開始年
					月平均気温(℃)	年	
那覇	25.8	24.2	+1.6	2	26.1	1998	1891
名護	25.4	23.8	+1.6	2	25.9	1998	1967
久米島	26.0	24.2	+1.8	1	26.0	1998	1959
宮古島	27.0	25.0	+2.0	1	26.5	2016	1938
石垣島	27.9	25.9	+2.0	1	27.4	2016	1897
西表島	27.8	25.5	+2.3	1	27.4	1954	1954
与那国島	27.6	25.4	+2.2	1	26.8	2018	1957
南大東島	26.1	24.1	+2.0	2	26.7	1998	1942

平年値の統計期間は、1991～2020年

\* 2021年5月19日から沖縄地方における地域平均平年差は、那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島における気象要素の平年差を7地点平均することにより算出しています。

いのちとくらしをまもる  
防災減災

3. 気温が高くなった要因



気温が高くなった要因として、上空の偏西風が蛇行して日本付近で平年より北を流れたことにより、梅雨前線が沖縄地方の北にある状況が続いたことと合わせ、太平洋高気圧が強まったことが挙げられます。このため、沖縄地方は強い太平洋高気圧に覆われて南からの暖かい空気が流れ込むとともに、晴れた日（日照）が多くなり、気温が高い状態となりました。

偏西風の蛇行と太平洋高気圧の強まりの原因は、ともにインド洋の対流活動が活発だった影響と考えられます。この対流の影響でインド洋からインドネシア付近にかけて赤道域の気圧が低くなった結果、太平洋西部から北東風が吹き込んで大気下層が発散場になり、太平洋高気圧の強まりをもたらしたと考えられます。

いのちとくらしをまもる  
防災減災

4. 「月平均気温の高い方から5月としての極値」を更新したアメダス地点

観測地点	月平均気温 (℃)	平年差 (℃)	5月としてのこれまでの1位		統計開始年
			月平均気温 (℃)	年	
伊是名	25.0*	+1.6	25.0	1998	1977
北原	26.0	+1.7	25.7	2016	2003
安次嶺	25.7*	+1.2	25.7	2004	2003
北大東	26.2	+1.8	26.0	2016	2003
旧東	26.0*	+1.7	26.0	2016	2003
下地島	27.0	+1.8	26.7	2016	2003
鏡原	27.0	+2.0	26.4	2016	2003
仲筋	27.4	+1.8	27.0	2016	2003
伊原間	27.3	+1.9	26.8	2016	1977
所野	27.7	+1.9	27.0*	2018	2003
大原	27.6	+2.2	26.8	2004	1978
波照間	27.9	+2.2	27.0	2016	1979

- ・ 平年値の統計期間は 1991～2020 年です。
- ・ 統計期間が 10 年以上の地点について掲載しています。
- ・ \*印は下位と同値（タイ記録）を意味します。

月別、旬別の沖縄県の天候についての詳細は、「沖縄地方の天候」や「沖縄県農業気象旬報」をご覧ください。

沖縄地方の天候：<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/tenko/tenko.html>

沖縄県農業気象旬報：<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/nougyo/nougyo.html>

問合せ先：沖縄气象台 地球環境・海洋課 担当 砂川・玉城  
電話：098-918-4012 FAX：098-833-4292